

FFG

ディスクロージャー誌

2015

あなたのいちばんに。編

FREE

¥0

ご自由にお持ち帰りください。

特集

まちが地方が
永く輝く
未来へ

地方創生



My Town Vol.11



宗像編

豊かな緑と
海が囲む、
神おわす街へ

「ABCプランⅡ」の構造改革を
完遂し、次の成長ステージへ
トップメッセージ

商品&サービス
ラインナップ

海外への架け橋

Connect Kyushu to the World

住まいるな話
二世帯住宅で
いっしょに
「暮らしづくり」

平成26年度の
業績ハイライト

FFGの社会的責任
CSRレポート

次、またその次の世代の未来まで

このまちを繋いでいくために。

あなたのいちばんに。

Contents

- 03 トップメッセージ
「ABCプランⅡ」の構造改革を完遂し、
次の成長ステージへ
- 05 特集 まちが地方が 永く 輝く 未来へ
- 15 ライフステージと
FFGの商品&サービスラインナップ
- 17 海外への架け橋
- 19 FFG TOPICS
- 21 CSRレポート2014-2015
Focus on『FFGホール』
環境共生活動
生涯学習支援
ユニバーサルアクション
- 26 FFGが提案するステキライフ
「住まいるな話」～二世帯住宅～
- 27 来て！見て！My Town ～宗像編～
- 29 FFG経営戦略
- 30 業績ハイライト
- 34 FFGのネットワークとプロフィール

佐世保からフェリーに揺られて、およそ3時間。

訪れたのは、五島列島北部に浮かぶ、

おぢか
小値賀島――。

大小17の島々からなる、人口約2,600人の
このまちは、長崎で最も小さな自治体です。

フェリーを降り、まず目に飛び込んでくるのは、

緑豊かな大自然。そして、レンタサイクルで

風を切りながら感じるのは、

遮るものがない、心地よい陽射し。

また、ほのかに香る海の匂いも。

そこには、日常の喧騒から解放された

のどかな景色が広がっています。



長崎県北松浦郡小値賀町内「笛吹本通り」にある、親和銀行小値賀支店



そしてここに、
島内唯一の地方銀行として、
私たちの親和銀行小値賀支店があります。
農林水産業を中心に 日々の暮らしの
お手伝いをするのはもちろんのこと、
最近では、県外・海外から集まってくる
ひと達を巻き込んだ、
持続可能なまちづくりに向けた
取り組みにも力を入れています。
必要なことは、
島にない、足りないものを
新たに生み出すことだけではなく
今ここにあるものの価値に気付く
その秘めた可能性を開花させていくこと。
総勢7名の小さな支店ですが、
いちばん身近でいちばん頼れる、
そしていちばん先を行く銀行として
このまちの、今日を未来へと繋いでいくために。
地域の皆さまとともに。



「ABCプランⅡ」の 構造改革を完遂し、 次の成長ステージへ

ふくおかフィナンシャルグループ
取締役社長

柴戸 隆成

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

平成26年度の振り返り

平成26年度の国内景気を振り返りますと、前半は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減や夏場の天候不順の影響などにより個人消費に弱さが見られましたが、企業収益と雇用・所得環境の改善が底堅く推移するとともに、米国経済の回復や円安の進行を背景に生産や輸出も徐々に持ち直し、年度後半には景気全体も緩やかな回復を辿りました。金融面では、株高・円安が進行する一方、金利は長期・短期金利ともに低位での推移となりました。

このような金融経済環境のもと、

当社グループは、平成25年度から取り組んでいる第四次中期経営計画「ABCプランⅡ」の2年目として、「お客さま起点」の構造改革と営業基盤の飛躍的拡大に向けて、各種施策に取り組んでまいりました。

当社グループの平成26年度の業績は、前年度に計上した投信解約益等の剥落や貸出金利回りの低下による減収を、貸出金残高の積み上げや資産運用商品販売の強化、経費削減によりカバーし、本業の収益力を示すコア業務純益（3行合算）は、計画を22億円上回る742億円となりました。企業業績の改善に伴い信用コストが戻り益となったことから、FFG連結当期純利益は365億円となり、3年連続で過去最高益を更新いたしました。

また、平成27年3月末の3行合算の預金残高は12.7兆円、貸出金残高は10.3兆円と初めて10兆円を超えました。

平成26年度にグループ新体制がスタートいたしました。が、「ABCプランⅡ」で目指す九州全域での営業基盤の拡大は順調に推移しております。

地方創生への取り組み

最近、政府の成長戦略を地方に浸透させるため「地方創生」への注目が高まっております。これは、「まち・ひと・しごと」づくりを通じて地方の活性化を促し、人口減少や高齢化社会の進展といった日本経済が抱える構造問題の解決に繋げようというものです。

地域経済に軸足を置く地域金融機関にとって、地域経済の活性化と自らの企業価値の成長は密接な関係があります。地域社会が抱える課題解決のためには、まず私ども金融機関自身の収益力向上が必要だと考えております。お客さまのさまざまなニーズに応え、リスクテイクするためには、強固な営業基

盤と経営体力が必要だからです。そして、金融を中心としながら、ヒト・モノ・情報を繋ぎ、地域社会の活性化を実現することが地域金融機関の成長に繋がります。当社グループは、地方創生への取り組みを通じて、自らの「収益力向上」と「地域経済の活性化」の好循環を創り上げていきたいと考えております。

本年2月には「地方創生推進チーム」を設置し、グループ3行およびコンサルティング会社を中心にグループ一体で取り組む体制を整備いたしました。現在は、地方自治体がまとめる「地方版総合戦略」の策定および各種施策における連携強化に取り組んでおります。

「ABCプランⅡ」の完遂に向けて

「ABCプランⅡ」（計画期間3年間）では、厳しい経営環境を乗り越え、「お客さま起点」での構造改革により収益力を高め、営業基盤を飛躍的に拡大することを目指しております。

これまでの2年間の取り組みで営業基盤の拡大は順調に進捗しております。また、オーナーコンサルティングの構築や消費性ローンの

増強といった収益力向上の取り組みにも手応えを感じており、市場金利の低下でこれまで減少が続いてきた資金利益の反転が展望できるところまで来ました。

最終年度となる平成27年度は、構造改革をさらに加速させ、資金利益の反転を実現することで、来年度からの次期中期経営計画における更なる企業価値の成長に繋げてまいりたいと考えております。

平成27年度業績見通し

平成27年度通期の業績予想は、コア業務純益（3行合算）740億円、FFG連結当期純利益370億円を計画しております。当社では配当性向30%程度とする業績連動型の配当テーブルを設定しており、平成27年度の一株当たり配当予想は年間12円としております。今後も業績向上を通じた株主還元で株主・投資家の皆さまのご期待に応えてまいります。

株主、お取引先をはじめステークホルダーの皆さまには、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

まちが 地方が 永く輝く 未来へ

より現実味を帯びてきた「地方の未来」

私たちの“生活拠点”であり、また多くの方にとって“心安らぐ場所”でもある『地方』一。

ただ、このままでは、「2040年までに全国の市区町村のうち約半数、九州でも135の自治体が消滅する可能性がある」という説もあるのをご存知ですか？

今、各自治体では「地方創生」という合言葉のもと、自治体・行政だけでなく、住民、企業、大学や金融機関、さらには各種団体なども結集・連携して、「ひと」や「しごと」の創出を軸に、「まち」が永く元気でいられる方法を具体的に考え、実現していこうと力を入れています。

では、これから地方が輝いていくためのカギとは何なのでしょう？

そして、私たちの生活はどうなっていくのでしょうか？

—2つの自治体の取組みから、その未来像をイメージしていきます。

地方創生

私たちを取り巻く『まち・ひと・しごと』の未来とは？

「協働」で広がる まちづくり



ふくおかフィナンシャルグループ
営業企画部長
五島 久



暮らしに関するサポートこそ、 地方銀行としての 存在意義だと考えています。

(五島)

1市2町の合併による体制と
市民企業との連携が大きな力に

五島 平成22年1月、前原市・二丈町・志摩町の1市2町が合併して誕生した「糸島市」。わずか5年半という短期間で、「糸島ブランド」としてお店や商品・場所が浸透し、県内外からの注目・人気も高まっていると感じます。どういったことを実施してこられたのでしょうか。

柴田 我々が暮らす地域は、北部には玄界灘、南部には背振山系が広がる豊かな「自然」、果物から野菜、畜産物・海産物まで「バリエーション」かつ「オリエント」も高い「食」、福岡市に近接する「利便性」といった良さがたくさんあります。合併前はこれらを各自自治体が小さな範囲で、バラバラに発信していましたが、行政・農協・漁協・商工会・観光協会など、関係団体がつながったことで、市全体をより力強く、大きくアピールできていると思います。加えて、市内企業や事業者を含めた「市民」の皆さんの力も大きいですね。今や、糸島の定番として認知していただいている音楽イベント「サンセットライブ」や、「110キロウォーク」などは、市民主導型のイベントなんです。また、東京・関東圏への「糸島プロモーション」の際は、市役所のシティセー

ルス課が単独で動くのではなく、実は全国で初めて、民間企業にお願いして「プロモーションを実施しています」。

五島 そうなんです。具体的には、どういったことをされているのですか？

柴田 自治体独自でアンテナショップや東京事務所を構えるのではなく、マーケットの情報を提供していただいたり、外部への営業、PRイベントの開催などをセットで委託しています。これまでに主要百貨店等での食材特集イベントの開催、大学と提携した講演会などを実施してきました。自前だけではどうしても情報が不足してしまったり、すぐに効果を出すのが難しかったりするので、今、行政は、民間と一緒に知恵を出し合ってやることが大事だと考えています。

五島 アンテナショップとはまた違う、総合的かつ継続的なセールス活動は効果的かもしれませんね。また、活動の幅も広がっています。

住民や生活者と目線を合わせて
さらに「住み続けたいまち」へ

五島 これらの取組みは、糸島市合併後、23年度を初年度として策定された、まちづくり計画「糸島市長期総合計画(10カ年)」

の一部だと思いますが、今年度はその振り返りですね。その他の施策の実施状況や、住民の方々の反応などはいかがですか？

柴田 計画は、目標のうち半数は予定通りに進捗していますが、半分は道半ばです。目に見える変化としては、観光客の受け入れが、合併時の年間450万人から直近調査では330万人に伸びました。市民所得に関しても、少しずつ増加しています。ただし、人口はというと、ここ5年で約1,500人減少し、10万人を前後する状況です。また、2,000人を対象に実施している「市民満足度調査」を見ると、24年と比較して26年の「総合満足度は上昇しているものの、「住みやすい」や「住み続けたい」といった声は低下しています。過去にはある雑誌の企画で、福岡で住みたい街ランキング1位も獲得しましたが、まちに変化が生まれていく中で、市民の想いは常に変わっているのだと思います。

五島 では、具体的には、今後どういった点に注力していくべきなのでしょう？

柴田 前述した変化を捉え、課題と民意を反映したまちづくり計画が必要だと思っています。糸島市が持つ強みは、もちろん、先にお話した「自然・食・立地」ですが、忘れてはならないのは、市民の「糸島ブランド」への熱意の高さです。「糸島が好き」というその気持ちを、今の情勢に即した、住民や生活者の目線と掛け合わせることが大切です。そして、例えば子育てや教育環境の向上・充実といった「住み続けたい」まちづくりに向けて、積極的に活かしていきたいと考えられています。現在、審議中の「後期計画(28～32年度)」でも、市の関係





糸島市役所
企画部長
柴田 潔氏

各自治体が実施している、地域活性化に向けたさまざまな取り組み。
その中で生まれる変化や気づきを活かし、さらにもう一歩進んだ
「まちづくり」へと繋げるポイントについて、糸島市に伺いました。



者だけでなく、公募委員や、まちに関わる
あらゆる方々の意見を結集・反映しながら、「協働」でこれからの糸島市が目指す
方向性を定めていきます。

「行政として」「銀行として」 密に協働し、地域経済の活性化を

五島 「協働」という点では、市民との連携以外にも、糸島市は、九州大学や我々FFG・福岡銀行とも、これまでに連携体制を構築されてきていますよね。手応えはいかがでしょう？

柴田 九州大学が隣接し、合併早々に、包括連携協定を結んで、さまざまな分野でマンパワーを含め、「**知の活用**」で協力いただいているのも、糸島市の大きな強みです。例えば、小中学校での土曜授業や、大学が持つＩＣカード技術を活用した市民の見守りの実証、全国２位の生産量を誇る福岡県産の小麦を使用した（※）「めんの」、ＪＡ・大学・市の３者連携による共同開発など、大小１００を超える事業に取り組んでいます。FFGとは、25年12月に連携協力協定を締結し、私たちのニーズに対してはもちろん、**行政としての限界や市民の事情に応じた新しいやり方**ができないかと、これまで、我々には考えもつかないような提案をしていただきました。企業誘致に関する情報提供や商談会開催、支店での市情報コーナー常設や新しい金融商品の開発などです。今話題になっている、地方創生では、教育機関・金融機関との連携も当然重視されていますので、その前から、こういった取り組み体制

が構築できていることは、大変助かっています。

五島 我々としても、これまででは、お客さまと銀行の２者間で商品や

サービスを考えがちでしたが、それに加えて、市民の生活の場である自治体と連携することで、**創造の幅が大きく広がる**と思います。糸島市との取組みのように、見る角度を増やし、暮らしに関する市の事業をさまざまな側面からサポートさせていただくことが、地方銀行としての存在意義だと実感しています。

柴田 我々も金融機関も、「**地域経済の活性化**」という、目指すところは一緒ですからね。FFGには、今後も地域経済に関する情報や知恵をいただければと思います。

五島 長く金融業としてビジネス展開してきた中で、「しごとをつくる」ことに関しては、企業のライフステージに応じたお手伝いができると思います。創業期には、事業を起こされる方への金融支援やノウハウなどのアドバイス、発展期には、九州内にとどまらず、全国各地、さらにはアジアへの販路開拓のサポート、事業資金が必要な場合には、融資、そして最近では、次世代への事業承継や相続に関する相談も承っています。地方創生においては、各自自治体と「行政として」「銀行として」できることを密に掛け合わせることで、事業者の方にとっても、良い効果が現れるのではないかと思います。

柴田 今までの自治体の枠を超えた、新

これから市民の想いを大切に、
皆さんと協働で
まちづくりを進めていきたい。

(柴田)

たな発見・展開が生まれ、カタチにしているのがこれから楽しみです。

市民が豊かな毎日を実現できる 「地方創生」の実現をともに

柴田 外から注目されることで、これまで気付かなかった自分たちの良さにも目を向けることができ、市民の自信や市に対する愛着へと、相乗効果を生んでいると思います。今後とも、まちが元気に輝くためには、対外的なPRも必要ですが、まずは、**住んでいる人が「住んでよかった」と、この糸島市の豊かさを実感していただく**ことが大事だと考えています。それがまた、外からの注目度の維持・向上にも繋がっていくのではないのでしょうか。

五島 そういうまちづくりを、「住んでいる人」と一緒にやっている「ことうー」というのが、「協働」という意味ですよ。我々も協働の輪の中で、「一緒にやらせていただければと思います。これからも、ともに地方創生を実現していきますよ。」



まちが秘める可能性へわたしたちの「挑戦」

糸島市との対談の中から浮かび上がってきた、地方創生で、まちが元気に輝くために必要な「協働」というキーワード。

それを行政・団体・個人が一体となって実現しているのが、長崎県下でもっとも小さな自治体、小値賀町一。

それぞれに共通していたのは、まちへの熱い想いと、チャレンジを恐れない前向きな姿勢でした。



「まちが活気付く、島の暮らし観光」

以前は小値賀も、「自然豊かな島」というだけで、ひとが集まってくることはありませんでした。加えてこの島は、人も広さも限られています。他の都市のようにハコモノをつくるわけにもいきません。そこで、今までの概念に縛られず、島の見方を変えてみる必要でした。

例えば、「当たり前」に目を向けてみる



小値賀町役場
町長
西 浩三氏



にある「当たり前」に個性を見出し、感動・共感してもらえただけのストーリー展開、伝え方の工夫には知恵を絞っています。そうした、ありのままの姿を見せた結果として、「また来たい」という声をいただくことで、我々も小値賀の良さを再認識し、自信にも繋がるといい好循環が生まれてきました。まちづくりへの、島民の

「一歩ずつ、思い切ったチャレンジとともに」

離島である小値賀町は、地方創生が話題になる前から過疎化や少子高齢化が特に進んでいました。最近では観光で注目が集まり、島を訪れる人や定住者もここ10年で100名増加していますが、今後の「持続的なまちづくり」に向けては、行政としてまだまだ課題があります。

まず、「まちづくり」に関しては、「交通アクセス」の利便性がある程度確保できなければ、観光を含めた経済活動の、中ずばみに繋がりがかねません。船・フェリーの航路拡大などは、これからの積極的な働きかけていきたいと考えています。

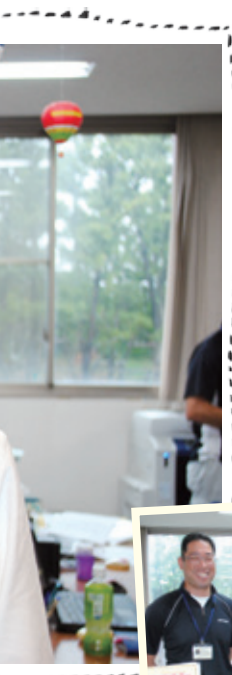
「まちづくり」に関しては、仕事を始めやすい・続けやすい環境がまずは必要です。この島で生計を立てるのは容易ではなく、特に小値賀にゆかりのない、イターンの方々にとっては、とても大変なことです。十分なやる気の中、「地域おこし協力隊」として活動したものの、島を後にされる方もおられます。彼らへのサポートを充実させていかなければなりませんし、新しいこと

にチャレンジしやすい、たとえば起業に必要な資金調達時の保証人などの問題を金融機関の協力を得ながら、まちとしても一緒に解決していかたいと考えています。業態も、他者と組んで複数の事業を営んだり、島外をターゲットにするなど、思い切った展開の幅を広げていきたいですね。

一朝一夕にできるものではありませんが、こうした課題を一つずつクリアしていくことで、「島の「やっつけ仕事」と実感できるようなれば、特に若い世代の島外流出の緩やかな解消、ひいては「ひとづくり」にも繋がっていくと思います。そのために、まちを支え・後押ししていくのが、私たちです。

どの自治体も、これからの「まちづくり」を模索しているところだと思いますが、果敢なチャレンジが、まちの可能性を広げます。島に集う皆さんの若さやアイデア・情報発信力・サポートとともに、「一歩ずつ、進んでいきたいですね。」

ので、次は「大人のゆったり島旅」をテーマに、新たなチャレンジを続けていきます。





晋弘舎活版印刷所

横山 桃子氏

大学進学、東京での就職を経て、Uターンをしたのが4年前。一度外に出たことで、まちの役割や、島が築いてきた歴史、今ではなくなりつつある、私の家が3代守ってきた活版印刷や小値賀の大自然の価値など、新たに覚えてくるものがありました。今、小値賀にひとが集まってきているのは、そついった、島が持つ豊かさに気付き、一つひとつクローズアップできているからだと思います。また、その良さを発見・発信していきたいという意識の高い人がたくさんいることも、まちの元気に繋がっていると感じます。

周りには20〜30代も多く、同級生のUターンや、県外からのUターンも増えています。日頃から、年齢も出身も関係なく、想いを持っている人が集まり、語り合っているわけですが、小値賀の日常



今も、「島は働く場所ではなく、出ていくもの」という意識があり、帰りづらさや、戻ると心配されるといった空気もありますが、そうではなく、ポジティブな想いで帰って来られる場所だということを、ほかの人にも感じてもらいたいですね。そのためにも、島と活版印刷の両方を盛り上げる活動を展開し、幼い頃からずっと大好きだった小値賀のまちを活気付けていける存在になりたいと思っています。



ことです。今注目を集めている「民泊事業は、島暮らしを観光客にそのまま体験いただくというコンセプトを打ち出しました。サンセットクルーズは漁師の方の助言をヒントに、ほたるツアーは私が毎晩、島内のスポットを開拓・整備していく中で始まりました。また、**一見弱みとも思える点にも注目**し、ほぼ無人状態だった野崎島の廃校を活用した簡易宿泊・休憩施設は、今では年間2,000名の修学旅行生を受け入れるまでになりました。いずれも特別な資源ではなく、特別なことをしているわけでもありませんが、小値賀の日常

自主性も徐々に高まり、最初は夢物語にしか感じていなかったであろう「観光を通じての、しごとと子ども(ひと)の創出」が、少しずつ現実のものへと変化しているようです。

最近では、Uターン・Uターンの方も増え、そのやりとりの中で、また**新鮮な気持ちで、島に向き合う**ことができています。そして実感するのは、私自身が小値賀ファンであるということ。発見したその魅力を、周りの人に教えるのが楽しみです。さらに幅広い世代の方々に島を訪れていただき、皆さんの心に、小値賀を残してほしい

「大好きなこのまちを、素直に戻れる場所へ」

おがさわらアイランドツーリズム協会
理事長
尼崎 豊氏

まちが元気になるヒント

『協働と連携のチカラ』

糸島市

いとしま
memo

目指すは、

『人も元気 まちも元気
新鮮都市いとしま』



アクセス:福岡市内から車で30~40分
面積:215.70km²
人口:100,050人(平成27年5月末)

サンセットライブ

糸島の自然の素晴らしさに目を向けてもらい、次世代に残したいとの想いから、カフェオーナーが地元のサーファー、ミュージシャンを集め、駐車場からスタートしたイベント(今年で23回目、毎年夏の終わりに開催)。

現在も、運営は地元住民・ボランティア・カフェやレストランの従業員の方々を中心に行っており、来場者やボランティアによる会場とビーチの清掃も定着している。



関東でのイベント開催



平成24年度から、銀座松坂屋、伊勢丹新宿店などの百貨店や代官山イベントスペースでマルシェを開催。平成26年度からは、糸島の対外アピールに向けた情報収集や宣伝活動を、市の事務所やアンテナショップを設けずに民間企業に委託し、協働することで強化を図っている。



以降、伊勢丹新宿店やDEAN&DELUCAでの糸島食材特集のほか、相模女子大学と連携した、周辺住民参加の歴史講演を開催するなど、活動の幅を広げている。

糸島三都 110キロウォーク



糸島市誕生を記念して始まった長距離ウォーク。2日間(制限時間28時間)をかけて糸島半島を2周する。ボランティアスタッフを中心に、50以上の企業・団体の後援・協力を得て開催している。



糸らーめん

九州大学やJA糸島との共同開発で生まれたラーメンも人気。

糸島クラフトフェス



多くの芸術工房を構える糸島。陶芸や木工、ガラス、ジュエリー、染色などの手作り作家が作品を持ち寄り、年に一度、展示販売する。作家たちとの交流スペースも豊富。

くるくるマーケット



リサイクルを目的としたフリーマーケット。地域で活動するボランティアグループ、古民家再生や再生可能エネルギー・地産地消の食などを紹介し、糸島らしい、循環型社会の浸透を目指す。



糸島空き家プロジェクト

九州大学の学生の手による空き家再生サークルとして、リノベーションのワークショップを開催しながら、地元の方々と一緒に設計・施工を年間数軒プロデュース。これまで、地域に開かれた学習塾付き住宅などを手がける。

『日常にある景色・資源』



民泊

まちの主要産業である漁業や農業を営む、一般の家庭に宿泊。家族と同じように生活し、食事をともにするのはもちろん、郷土料理を教えてもらったり、魚釣りや農作業といった「島暮らし」を丸ごと体験することができる。



サンセットクルーズ (夏季)

地元漁師からの絶景ポイントの情報をヒントに企画。約1時間、漁船に乗って小値賀島そばの島々を巡り、夕景を眺める。



ほたるツアー (5~6月)

川沿いにとどまらず、山の中にもおよぶ多数の生息スポットを、長年、島内のほたるを観察し、その種類や光り方の違いも熟知した「ほたる博士」が案内する。



赤浜海岸

火山岩の砂れきからできた、火山島ならではの珍しい「赤色」の砂が眼下に広がる。



落花生

赤土で育ったコクのある落花生を使ったお土産が豊富。

五両だき

長年の海触によってできた、大きく窪んだ奇景。



ポットホール

玄武岩の裂け目、深さ3m・口径2mの穴に直径50cmの玉石が眠る。



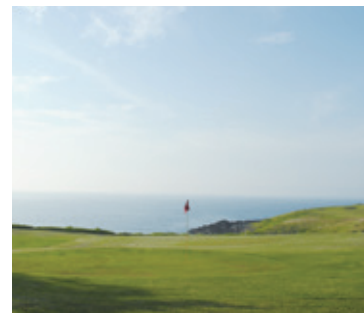
黒島園地

石階段を登ると、島内を一望できるロケーション。



浜崎鼻ゴルフ場

かつては放牧場として利用していた地を、その背後に広がる絶景に目を付け、40年前、島民が作った全5ホールゴルフ場。現在も、島の有志で管理されている。



牛

島内には、デザイン違いの注意書きがいっぱい。

FFG発「まちづくり」への取り組み

FFGでは、金融機関ならではのネットワークやソリューションのご提供を通じて、お客さまの中長期的な成長と地域経済の活性化を応援・サポートしています。

産学官連携

行政機関や大学などと連携協定を締結し、ネットワークを構築しています。これまでに、行政と連携した「商談会イベント」の開催による、お取引先の販路・調達先開拓の場のご提供や、お取引先の「事業ニーズ（NEED）」と大学研究機関等で生み出された技術やノウハウなどの「シーズ（SEEDS）」を結び付ける共同研究、技術指導等をサポートしています。

FFGの産学官連携協定締結先

福岡銀行：
北九州市、糸島市、長崎市、佐世保市、九州大学、福岡大学、福岡工業大学、熊本大学、長崎大学
熊本銀行：
合志市、水俣市、熊本大学、崇城大学、東海大学
親和銀行：
長崎県、長崎市、佐世保市、長崎大学、佐世保工業高等専門学校

九州9自治体との
共催・後援による
食品関連大規模商談会
「食の祭典 2014 in 福岡」

物産振興イベント
「いとしまフェア」

創業・開業支援

FFGでは、創業・開業期の企業をサポートすることを目的として、福岡銀行・親和銀行は日本政策金融公庫・信用保証協会の3者間、熊本銀行は日本政策金融公庫との間において、業務提携を行っています。

創業・開業支援の専門部隊を有するグループ銀行が、お客さまからのご相談をワンストップでお受けし、3者間（2者間）で最適なご提案を迅速に行うことはもちろん、創業融資等で独自のノウハウを持つ日本政策金融

公庫、中小企業融資に関する知識・経験を持つ信用保証協会がそれぞれの特性を発揮しながら、事業計画の策定から創業後のフォローアップまでを、一体となって実施しています。

また、新たな試みとして、上記3者に加え、自治体や商工会、民間企業とともに「女性の起業支援セミナー」を開催しました。連携の輪とともに、質の高いサポートが広がることで、地域経済の活性化を目指します。

ベテランが 起業へのあらゆる 不安を解決 事業力カウンセラー

福岡銀行では、これまで蓄積してきた経験・スキルを活かして、資金調達はもちろん、事業計画の作成支援や銀行取引のアドバイスなど、起業に必要な幅広いノウハウを提供しています。



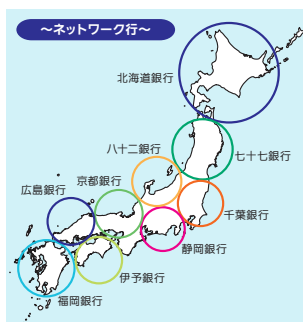
女性の起業支援セミナー

三者間での
定例会議



地域再生・活性化 ネットワーク

平成26年1月より、福岡銀行は、全国の地方銀行8行とネットワークを構築しています。お客さまが県境・地域を越えて企業活動を展開していく中で生じる経営課題やニーズに対し、それぞれの銀行が「地域のコーディネーター」として、保有する情報・ネットワークを広域かつ有効に活用することで、新たなビジネス機会を創出します。



ファンド出資

農業者が生産だけでなく、食品加工や販売まで関わることで所得や付加価値を高め、地域産業の活性化に繋げる「農業の六次産業化」を応援する農業ファンドに、出資しています。





地方創生推進体制

地方創生は、アベノミクスの恩恵を地方に波及させる、あるいは人口減少問題に対して中長期的な策を打ち、地方を活性化していくというものです。FFGでは、自治体がまとめる

現在、自治体が着手している「地方版総合戦略」の策定を支援するため、自治体で設置する協議会等に参画し、それぞれの地域の特色に応じた施策をともに発案しています。

「地方版総合戦略」の策定および各種施策の推進を地域金融機関として積極的に支援するため、平成27年2月、FFG営業企画部内に「地方創生推進チーム」を設置しました。地域経済の活性化に向けて地域金融機関に期待される役割を、グループ一体となって、これまで以上に発揮するべく、サポート体制を強化します。

今後は、グループ企業である「FFGビジネスコンサルティング」とともに、産（企業、事業者）・学（大学、研究機関）・官（行政）・労（労働団体）・言（マスコミ）と連携し、これまでFFGが培い展開してきた金融サービス面におけるソリューションメニューをご提供するとともに、FFGが持つ知見やネットワークを活かし、これまで以上に地域経済の成長に貢献していきます。



地方創生推進チーム事務局



グループ3行展開

空き家解体ローン

全国で約820万戸、7〜8軒に1軒の割合ともいわれる「空き家」は、昨今、社会問題として取り沙汰されています。特に、老朽化した空き家は、火災や犯罪を引き起こしかねず、多くの自治体が対策に取り組んでいます。

本ローンは、福岡県北九州市から、高い空家率に対する対応策のご相談を承ったことを機に商品設計がスタートし、九州の金融機関では初となる、解体専用のローンとして導入しました。提携する自治体が展開する

空き家対策の補助金を受給される方には、融資適用利率を0.3%引き下げる仕組みで、空き家の

解体を促しながら、安心安全なまちづくりを金融面から後押しします。

また、解体せずに利用できる空き家についても、まちの個性とすることを目指し、今後、自治体と連携しながら新たな再生・活用を検討していきます。



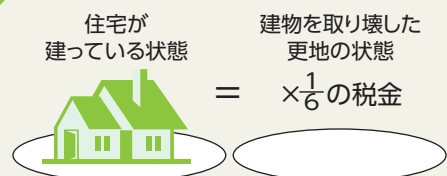
- ご家族所有の空き家解体もOK
- パート、アルバイト、年金受給者の方もOK
- ご融資は10万円以上最高300万円までで所得証明書は不要

column 「空き家」の将来

人口減少を背景に増加している空き家ですが、ほかにも要因の一つとして考えられているのが、宅地にかかる税金です。

ご存知でしたか？

「同じ宅地でも変わる土地にかかる固定資産税」



こうした「住宅用地特例」の適用により、住まなくなった後も、そのまま建物を放置するケースが多く見られているのです。そこで、平成27年5月に全面施行されたのが「空き家対策特別措置法」です。

～概要～

- 周囲の生活環境に悪影響を与える空き家は、市町村から所有者に撤去や修繕の勧告・命令
- 勧告を受けた空き家は、宅地にかかる税優遇が受けられなくなる

「空き家」を現状放置ではなく、そのまま活かしたり、壊して次の土地利用を考えるなど、「まちづくり」も視野に入れた、有効活用につなげようという動きが高まっています。

平成27年6月15日現在

【空き家解体ローンに関するご注意事項】・お申込みに際しては銀行所定の審査を行い、審査結果についてはご自宅宛書面またはお電話にてご通知いたします。審査結果によってはご希望に添えない場合がございますが、その場合、お断りする理由および内容については、ご回答いたしません。・解体される物件について、お申込みになるご本人様の単独での所有以外の場合は、必ず物件所有者様、共有者様からの同意を取得された上でお申込みください。・商品の詳しい内容については、商品概要説明書をご覧ください。・本ローンは特定の解体業者様での解体費用に対する特別金利はご用意しておりません。・詳しくは、FFG各銀行の窓口またはダイレクトコンサルティングプラザへお問い合わせください。

ダイレクトコンサルティングプラザ ☎ 0120-788-324 ☎ 0120-333-086 ☎ 0120-34-3456

※受付時間：9:00～20:00（但し、銀行休業日は除きます）

携帯・PHSからもご利用OK

幅広くお応えできるように、便利な商品・サービスをご提供しています。

の商品&サービスラインナップ

福岡 福岡銀行での取扱い

熊本 熊本銀行での取扱い

親和 親和銀行での取扱い

※特に記載がないものは3行共通の商品・サービスです。 平成27年6月15日現在



備えて安心 マイホーム

財形住宅預金



ローンセンター・ローンプラザ
長期火災保険
債務返済支援保険(住宅ローン)

ライフプランシミュレーション
住宅セミナー
建築士サービス
住宅ローン休日相談会
ライフプラン休日相談会

住宅ローン
リフォームローン
住まいるローン
カードローンTHE FIRST



しっかり 考えたい教育

積立式定期預金「ためる〜んKIDS」
教育贈与専用預金



自動送金サービス
外国送金



学資ローンDX
教育カードローン
ホームエクイティローン



シニア ライフ

大口定期預金
年金定期預金「夢いっぱい」
退職金専用定期預金
相続定期預金



一時払個人年金保険
一時払終身保険



貸金庫
投資信託運用報告会
会員制サービス「グランドマイバンク」
年金受取
年金受取予約サービス「夢プラン」
年金セミナー・年金相談会
相続関連サービス
相続セミナー
セカンドライフノート
プラチナカード
サポートデスク(相続・年金・介護)

リバースモーゲージローン **福岡**
メディカルローン
メモリアルローン
空き家解体ローン

住宅購入資金

住宅の平均購入価格は
世帯年収の約6.1倍

※1
(全国平均) **3,057.2万円**

「2014年度上半期フラット35利用者調査報告」
住宅金融支援機構

※1 注文住宅融資利用者のうち、土地取得のための
借入れのない方が購入した平均価格

お子様の教育資金

幼稚園から大学卒業まで※2

(全国平均) **978.0万円**
+

自宅外通学者の場合

仕送り年間 117.9万円 (月額9.8万円)

※2・幼稚園・小中学校は公立の場合
「子供の学習費調査」文部科学省/平成24年度
・高校・大学は国立・私立を合わせた全体の平均
「教育費負担の実態調査結果」日本政策金融公庫
/平成26年度

退職金

60歳で定年退職した場合

※3
(平均) **2,357.7万円**

「2014年9月度 退職金・年金に関する実態調査結果」
(社)日本経済団体連合会

※3 管理・事務・技術労働者・総合職・大卒を標準
とした場合



FFGは、個人のお客さまのライフステージに合わせ、さまざまなニーズに

ライフステージとFFG



**銀行デビュー、就職、
そして社会人生活**



**将来に向けた資産形成
そして結婚・出産**

ご預金

総合口座
インターネット専用口座「ネットワン」
積立式定期預金「ためる〜ん」
一般財形預金

資産運用・資産形成

NISA(少額投資非課税制度)口座
積立投資信託
積立式外貨普通預金「ためる〜んWorld」**福岡**
平準払個人年金保険



その他サービス

アレコレカード
アレコレSUGOCA
アレコレnimoca **福岡 熊本**
ETCカード
ダイレクトバンキングサービス(テレホン・インターネット・モバイル)
外貨両替
外貨両替予約販売サービス(スマートフォン・インターネット)
海外旅行保険(インターネット) **福岡 親和**
自動車保険(インターネット) **福岡**

給与振込
ポイントくらぶ「マイバンク」
メルマガくらぶ **福岡**

ご融資

ニューオートローンDX、残価設定型オートローン
ロードバイクローン、カメラローン、楽器ローン
フリーローン「ナイスカバー」
アレコレカードローン



スーパー定期預金(スーパー定期300)
バースデー定期
財形年金預金

学資保険
平準払個人年金保険
平準払終身保険
医療保険・がん保険
定期保険
収入保障保険
平準払外貨建養老保険
平準払外貨建終身保険

投資信託
公共債
スーパー外貨定期預金
ミックスパック
個人型確定拠出年金 **福岡**
ネット保険の窓口販売
外国債券等
(金融商品仲介業務)
証券会社紹介サービス **福岡**

マネーセミナー
公共料金自動振替



ブライダルローン



お問い合わせ先

商品・サービスに関するお問い合わせは、FFG各銀行の窓口、ホームページ、または下記ダイヤルまで。

テレホンサービスセンター (定期預金・ためる〜ん・その他照会について)

福岡銀行 ☎0120-788-321 熊本銀行 ☎0120-189-066 親和銀行 ☎0120-122-312

ダイレクトコンサルティングプラザ (ローン・アレコレカード・資産運用等について)

福岡銀行 ☎0120-788-324 熊本銀行 ☎0120-333-086 親和銀行 ☎0120-34-3456

自動音声
案内メニュー

- 【1】ローン・アレコレカードのお申込み
- 【2】ローン・アレコレカードのご相談・お問い合わせ
- 【3】住宅ローンのお申込み・ご相談
- 【4】資産運用のご相談

結婚式の費用

挙式・披露宴・
披露パーティー

(九州平均) **363.0万円**

「結婚トレンド調査2014」
『ゼクシィ』(リクルート発行)調べ

※受付時間：9:00~20:00(但し、銀行休業日は除きます)

～海外のビジネス拡大へ～

ビジネスサポート



九州⇄海外、高まる可能性

訪日観光客をターゲットにした商品サービスの企画開発・提供などの「インバウンド」ビジネス、食料品・製品などの販路拡大や輸出を展開する「アウトバウンド」ビジネスのいずれにおいても、今後、特にアジアを中心とする海外マーケットの開拓は、九州経済の発展に繋がる可能性を秘めています。

インバウンド

「九州への外国人入国者数」
過去最高更新 **2014年**
約168万人
(出所:国土交通省)



アウトバウンド

「九州からの食料品輸出額」
年率10%超で増加 **2014年**
567億円
(出所:門司税関)



～主なサポート内容～

海外での自社製品
マーケティング

海外子会社の
資金調達

海外取引先
(販売・調達先)の紹介

海外子会社設立の
ための現地法制度
情報提供

どうぞお気軽に
お尋ねください



From 海外

アジアを中心に、全6拠点の海外駐在員事務所のネットワークを駆使し、お客さまが抱える海外進出、販路・仕入先開拓などの海外ビジネスに関するお悩みに有効な情報をご提供します。

大連



上海



香港



ニューヨーク



シンガポール



バンコク



九州地方銀行からの
ASEAN進出は、FFGが唯一!

From 九州

●お電話で

本部専門部署のスタッフがご相談に素早く対応



いいな グローバル
0120-17-9686

※受付時間:9:00～17:45(但し、銀行休業日は除く)
※日本国外からは繋がりません

●窓口で「福岡銀行」

「海外サポート担当者」や、現地勤務・語学留学・海外ビジネスサポート経験者の「アジアサポートアドバイザー」を中心に、きめ細かく対応

●パンフレットで

「海外ビジネススタートブック」

インバウンド・アウトバウンド別に、ビジネス展開のステップに応じた、FFGのサポート内容を紹介



平成27年6月1日現在

【インターネット外貨両替予約販売サービスにお申込みいただく際のご注意事項】

- 両替の際に適用される為替相場はご来店時の為替相場とさせていただきます。●来店の際には別途銀行所定の両替依頼書のご記入が必要となります。
- お申込み日から(お申込み日を除く)3営業日以降、7営業日以内のお渡しとなります。(土・日・祝日を除く/ 9:00～15:00) ●お受け取り希望日から1週間を過ぎててもご来店されない場合はお申込みをキャンセルさせていただきます。●パック内容・手数料など詳しくはヘルプデスクにお問い合わせください。

～問い合わせ～
テレホンサービスセンター(外貨両替について)

☎ 0120-788-321 ☎ 最寄の支店へお問い合わせください。 ☎ 0120-122-312

インターネット外貨両替予約販売サービスヘルプデスク

☎ 0120-788-374 ☎ 0120-527-123 ☎ 0120-335-233

※受付時間:9:00～17:45
(但し、銀行休業日は除く)
※携帯・スマホからもご利用OK

海外への架け橋

Connect Kyushu to the World

夏休みシーズンに向けた、旅行へのご準備から
海外進出や貿易取引のご相談まで、
さまざまなニーズにお応えします。

～旅行やショッピングに～ 外貨両替



取扱通貨は
全13種類！



米ドル



ユーロ



韓国ウォン



香港ドル



中国人民元



タイバーツ



シンガポールドル



ニュー台湾ドル



オーストラリアドル



カナダドル



ニュージーランドドル



イギリスポンド



スイスフラン

ご両替はこちらから！

【店頭】

グループ3行の各店舗のほか、外貨両替ショップでも
取り扱っています。※1

～主要店舗～

- 本店営業部、博多駅前支店、
国際線ターミナル出張所（年中無休）、
久留米営業部、小倉支店
- 本店営業部、下通支店、武蔵ヶ丘支店
- 本店営業部、長崎営業部

全13通貨
取り揃え

【インターネット】



24時間
スマートフォンからも
お申し込みOK！

外貨両替予約販売サービス

お申込み日から（お申込み日を除く）
3営業日以降、7営業日以内に
ご希望日・店舗でお渡し

サービス
利用料
無料



NEW OPEN 予定【外貨両替ショップ】

●訪日外国人の方にも便利！

平成27年6月末

「中央ふ頭クルーズセンター
自動外貨両替コーナー」

両ショップとも
・年中無休
・午前9時～
午後9時営業 ※2

●天神町支店1階から 移転リニューアル！

平成27年7月

福岡三越前
「天神ライオン広場
外貨両替ショップ」



※1 記載以外の店舗でも外貨両替をお取り扱いしておりますが、取扱通貨の種類は店舗により異なりますので最寄りの店舗にお問い合わせください。

※2 中央ふ頭クルーズセンター自動外貨両替コーナーは、クルーズセンター閉館日はご利用いただけません。

【外貨両替全般のご注意事項】

- 外貨両替の際に適用される為替相場には銀行所定の手数料が含まれます。（例：米ドル現金1ドルあたり3円）●硬貨（コイン）のお取扱いはしていません。
- 200万円相当額を超える両替の場合、ご本人確認資料（パスポート、運転免許証等）のご提示が必要となります。
- 旅行小切手（T/C）の買取限度額は1日あたり、お1人様30万円（相当額）までのお取扱いとなります。買取については、取扱店舗、旅行小切手の銘柄に制限がございます。
- 中国人民元は、販売・買取ともにお1人様2万円までのお取扱いとなります。
- ニュー台湾ドルは、販売・買取ともにお1人様6万ドルまでのお取扱いとなります。
- 外貨両替取扱店、取扱通貨、内容および手数料は予告なく変更することがありますので、詳しくは窓口へお問い合わせください。

国内外で「九州各地の食材」をPR

【国内】

「食の祭典2014 in 福岡」

フリー商談および全国からのバイヤー50社と参加企業156社による個別商談が650件



【海外】

「第2回 九州 食の商談会 in バンコク」

タイを中心とするASEAN諸国への販路拡大を志向する出展企業が44社、来場バイヤー114社、商談は762件



商談会・セミナーの開催

お客さまの商圏・販路拡大などのニーズに対して、新たなビジネス機会を創出し、交流の機会やお役立ち情報をご提供するため、各種商談会やセミナーを開催しました。

女性の活躍推進に向けた取り組み

FFGは、多様な人材が能力を遺憾なく発揮し、活躍していくことが一層の組織力向上に繋がると考えています。中でも、女性の活躍推進を優先課題と位置付け、これまで実施してきた人材育成、意識・環境面の改革に向けた取り組みをさらに加速させる

べく、平成26年10月、数値目標を設定しました。また、今年4月には、福岡銀行に「ダイバーシティ推進室」を設置しました。女性のキャリア形成や仕事と家庭の両立などに関する支援を積極的に実施していきます。



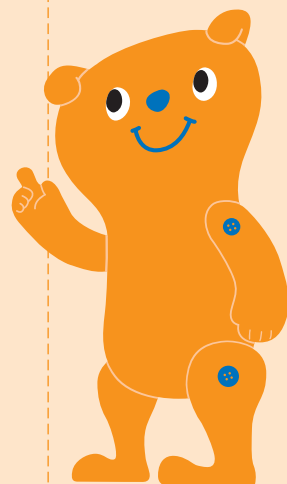
●FFGの登用目標「イチマルイチロク」

	H26年3月末 (実績)	H30年3月末 (目標)	H35年3月末 (目標)
管理職	2.5% 26名	5.0% 50名	10.0% 90名
役職者	7.7% 164名	12.0% 230名	16.0% 330名

ブランドCMの展開

FFG企業ブランドCM「娘への仕送り篇」娘の積立て篇の放映を平成27年5月から開始しました。

人々のライフイベント(進学、結婚)にフォーカスし、想いが込められた「お金」を映し出すことで、銀行がお客さまの想いを繋ぐ存在であることを表現しています。



ネット完結型 生命保険の取扱い

平成26年4月より福岡銀行で取扱いを開始していた「ネット完結型生命保険(6商品)」(アークサダイレクト生命保険と連携)が、熊本銀行・親和銀行でも販売開始となりました。

他の商品と同様、行員が銀行窓口にて、対面でお客さまにご提案を行い、お申込みはペーパーレスでお手続きできます。第二地方銀行での導入は、熊本銀行が全国初です。

熊本銀行で「アレコレnimoca」発行

福岡銀行につき、熊本銀行でも平成26年12月から「アレコレカード」と交通系にカード「nimoca」が一体となった「アレコレnimoca」の取扱いを開始しました。

熊本市電や、全国の交通ICカードエリアでもご利用いただけます。



振り込め詐欺にご注意ください

警視庁発表では、平成26年の特殊詐欺による被害総額は559.4億円、うち、振り込め詐欺の被害額が375.7億円と、いずれも過去最悪となり、依然として被害が増え続けています。

被害防止に向けて、FFGでは警察署との連携、窓口・ATMコーナーでのお声かけ、お客さま向けセミナーの開催などを行っています。いつでも窓口までご相談ください。

特に気を付けたい手口

- 犯人が被害者から直接現金を受け取る「現金受取型」
- 宅配便やレターパックで現金を送らせる「現金送付型」

被害に遭わないために

- 電話の内容をよく確認
- 慌ててお金を振り込まず、事実関係を再度確認
- 知らない人にお金を預けない
- ATMの操作でお金が戻ることはないので注意



店舗新設・リニューアル

平成26年10月以降、当社グループでは、1店舗の新設と3店舗のリニューアルを行いました。今後も地域の皆さまに「あなたのいちばんに。」を感じていただけるよう、店舗新設・リニューアルを進め、快適で心地よい空間をご提供していきます。

福岡銀行 薬院支店



4/13 新築

筑紫通支店



2/9 新築移転

FFG ふくおか証券



1/26 小倉支店 行橋出張所

長住支店



3/16 新築

店名変更 6/1

- FFG 「鹿児島支店」から「鹿児島営業部」
- FFG 「前原支店」から「糸島支店」

今後の予定

平成27年秋頃

- FFG 吉田支店 新築移転
- 浜町支店 新築

平成28年春頃

- 本原支店 新築
- 吾妻支店 新築移転
- 長与支店 新築移転

FFGのコーポレートコミュニケーション(IR)年間カレンダー

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	
		●第3四半期決算		●中間決算				●第1四半期決算		●本決算		決算発表
									●			株主総会
				●						●		会社説明会
	●			●			●		●			有価証券(四半期)報告書
			●あなたのいちばんに。編 ●財務データ・資料編					●あなたのいちばんに。編 ●財務データ・資料編			●本誌	ディスクロージャー誌
							●					Annual Report

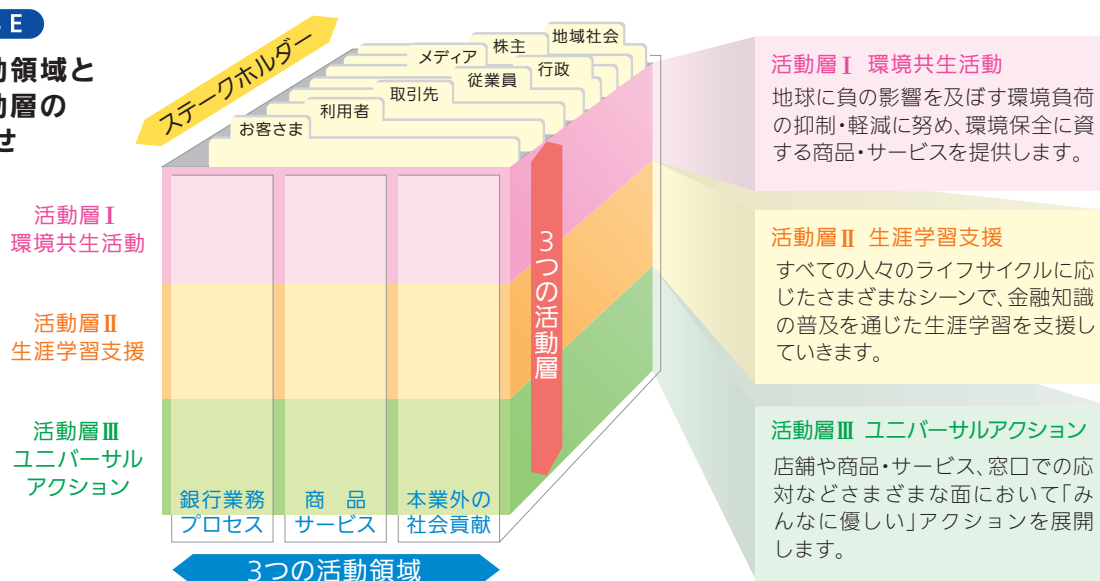
当社グループでは、
経営理念の実践とも言うべき事業活動そのものが、
「CSR」と考えています。

CSRレポート 2014-2015

Corporate Social Responsibility Report 2014-2015

CSR CUBE

3つの活動領域と
3つの活動層の
組み合わせ



銀行業務プロセス によるCSR

コーポレートガバナンス、法令遵守、各種リスク管理、情報開示といった企業経営の根幹となる態勢構築・整備をはじめ、従業員の雇用や自らの環境負荷軽減活動などといった、銀行業務の全プロセスにかかる取り組み。

銀行の商品・サービス によるCSR

銀行の持つ金融機能を活用して、社会的に意義ある商品・サービスを開発・提供する取り組みおよび金融ビジネス。

本業外の社会貢献 によるCSR

本業とは直接的な関係は薄いですが、経営資源を活用して、社会的課題に関与する取り組み（ボランティア、文化芸術活動など含む）。

FFGの文化芸術・地域振興拠点 『FFGホール』(福岡銀行本店地下)



FFGでは、生涯学習支援の一環として、文化芸術・地域振興に資する活動を展開しています。その主要拠点である福岡市天神で運営する「FFGホール」について、ご紹介します。

ご存知ですか? 「FFGホール」とその歩み

今から40年前、現在の福岡銀行本店ビルは「銀行の顔」として、また、「地域に貢献する文化的施設」として皆さまから親しまれることを目指して誕生しました。

同敷地内に広がる憩いの場、「中庭」から数段降りたところには、市民の皆さまへ芸術に触れる機会をご提供することを目的とした、本格的な大ホールを併設しています。クラシックなどの音楽コンサートの他に、文化・教育活動としての講演会など、幅広いイベントを開催しています。

【場所】

- 福岡市中央区天神2-13-1
福岡銀行本店 地下

【歴史】

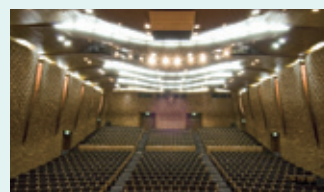
- 建設から40年
- 当初の「福岡銀行本店地下ホール」から、平成25年4月に「FFGホール」へ改称

【設備】

- 座席数 692席
- バリアフリー対応
- 赤松の板が張られた壁(加工されていない木材のみで内装を仕上げた音楽ホールとしてはおそらく国内最後のものといわれています)



ホワイエ(ロビー)



ホール内部

貸しホールとしても

開催イベント



「ニューイヤーコンサート」

新春恒例のコンサート。地域のお客さまをご招待し、九州交響楽団の演奏によるオーケストラの音色をお楽しみいただいています。



「招福寄席(博多・天神落語まつり)」

毎年恒例となった、地域の皆さまのための招福寄席。昨年は、老人福祉施設の方々をご招待。



九州生産性大学経営講座 開講課程

コンサートはもちろん、著名人や識者による講演会、市民フォーラム、企業研修などにもご利用いただいています。

広がる FFG の CSR 活動

FFGホールのリニューアル

平成27年3月、音響・照明の効果改善に加え、新映像設備などを導入し、ホールが新しく生まれ変わりました。開催イベントの技術面・芸術面の向上はもちろん、公演できるジャンルの幅も広がりました。

本ホールを運営する、ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団では、福岡、熊本、長崎3県にわたる活動を通して広く地域社会の皆さまの文化水準向上に貢献することを目指し、今後もFFGホールを積極的に活用していきます。

デジタル化による
音質・音響効果の改善

360インチ(4.5m×8m)
大型プロジェクター



新たな試み

「音楽」と「映像」の融合バンドLIVE!



「大森洋平ワンマンホールライブ」3/28

FFGのCMソングでおなじみのミュージシャン・大森洋平さんによる、リニューアル後初のロックコンサート。大迫力の演奏と映像が、曲の世界観を一層演出しました。

進化し続ける「FFGホール」へ、ぜひ一度お越しください!

お問い合わせ:ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団
092-723-2805(平日9:00~17:45)

FFGのホームグラウンドである九州の豊かな自然は、私たちの宝。
その想いを大切に、環境負荷の抑制・軽減に努め、環境に配慮した商品・サービスを提供します。

FFGの環境方針 4つの柱

- ①EMSの継続的实施
●地域の環境保全のために、目標を設定し、具体的な活動を通じて達成を目指します。
- 活動を評価し、必要な見直しを行うなど、環境マネジメントシステム(EMS)を継続的に改善します。
- ②本業を通じて環境面への取り組み
●本業を通じて環境活動の側面からも地域貢献に努めます。
- ③環境配慮活動の実施
●省エネ・省資源活動への取り組みおよび環境保全に配慮した社会貢献活動の実践により、環境への負荷軽減に努めます。
- ④全従業員への周知と徹底
●本方針を当グループ全従業員が認識し、一人ひとりが環境問題について考え、自主的に行動し、改善活動を実践していきます。

FFGの環境への取り組み

Fun to Share への参加
日本の森を守る地方銀行有志の会への参加
二酸化炭素排出削減事業への参加

環境に配慮した商品・サービス

環境格付融資 FFG「エコ・ローン」
再生可能エネルギー関連商品
排出権取引

環境負荷の抑制・軽減に向けた活動

植林ボランティア
FFG独自の節電プログラム
エコオフィス化の推進
(屋上緑化、太陽光発電、LED照明など)
営業拠点一帯の清掃活動
営業車両へのエコカー導入
ライトダウンイベントの実施
クールビズ・ウォームビズ
エコ・キャップ運動、使用済み切手収集
(キャップ・切手の回収、リサイクル)
ゴミの分別徹底
エコってカエル
(エコアクションとメリハリのある勤務体制の実現)

継続的なエネルギー削減への取り組み

平成23年夏から、FFG独自の節電プログラムを展開しています。身近な取り組みとして、室内空調の適切な温度設定や自動販売機の夜間消灯、離席時のパソコン電源オフの励行、各部店単位でのエネルギー消費量の管理などを実践し、電力使用量の削減に努めています。

平成26年度下半期(10月～3月)は、平成22年度同期比で12.1%の削減に繋がりました。

また、太陽光発電や営業店のATMコーナーなどへのLED照明の採用など、エコオフィス化も推進しています。

環境格付融資 FFG「エコ・ローン」

環境に配慮した経営を行う企業の取り組みをFFG独自の「環境格付」で評価化し、得点に応じて金利優遇を行う融資商品です。オリジナルティと地元密着を目指し、企業の環境保全の努力を評価項目に取り入れています。

植林ボランティア

NPO法人「100年の森 佐世保」が主催する植樹祭に、親和銀行の行員およびその家族20名余りが参加し、植樹指導のもと、成長への願いを込めて、苗木植えを行いました。

リサイクル活動

FFG本社ビルにおいて「エコ・キャップ運動」を展開し、ペットボトルのキャップを回収して再資源化を推進するとともに、ゴミの焼却処分にかかるCO₂発生の抑制にも貢献しています。

また、各営業店でもお客さまと一緒にペットボトルのキャップや使用済み切手などの収集に取り組んでいます。

エコオフィス化
「太陽光発電」



植林ボランティア



ペットボトルキャップの
回収活動



生涯学習支援 Lifelong Learning Support

FFGはすべての人々のライフサイクルに応じたさまざまなシーンで、金融知識の普及を通じた生涯学習を支援しています。

FFGの生涯学習支援

金融を通じた生涯学習支援

女性向けセミナー
学生向け「金融・経済学習」
お客さま向け各種セミナー
地域の皆さま向け
「振り込め詐欺から身を守るセミナー」
大学での寄附講座

次世代を担う子どもたちへ

児童養護施設への活動
「銀行の職場探検」プログラムの展開
「ジョブシャドウ」実施
「FFGインターンシップ」実施
「家族参観日」実施(従業員対象)

文化芸術・スポーツ活動

文化・芸術・スポーツイベントへのご招待
ニューイヤーコンサート
ビルの谷間のコンサート
地域貢献イベントの開催



女性の起業支援セミナー



大学生向けマネープランセミナー



ママさんバレー大会



少年少女テニス大会

金融教育支援

金融知識の普及をサポート

金融知識の普及をサポートするため、お客さまを対象にさまざまな金融教育支援活動を展開しています。平成26年度下半期は、長崎県内の3大学において、学生向けのマネープランセミナー(親和銀行)および職場見学や、新たに「女性の起業支援セミナー」(福岡銀行)など、女性を対象とした取り組みを実施しました。

児童養護施設への図書寄贈

子どもたちへ豊かな感受性や人間形成に役立つ「学び」を提供するため、図書寄贈を行っています。平成26年度は、グループ3行で12校へ834冊を寄贈しました。

「ジョブシャドウ」

高校生を対象に職場体験プログラム「ジョブシャドウ」を展開しています。社員に生徒が常時同行(シャドウイング)し、「働くこと」の意義や将来設計に関しての考えを深めるきっかけを提供するものです。これまでに、550名以上の生徒を受け入れています。

※ジョブシャドウは公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本(以下J・A)の登録商標であり、J・Aが提供する体験型実技プログラムです。

次世代を担う子どもたちへ

文化芸術・スポーツ活動

「リレーマラソン」

親和銀行が、長崎県内では初となる大規模な「5時間リレーマラソン」大会を主催しました。2カ所に設置された給水ポイントでは、行員約20名がボランティアとして大会をサポートし、270チーム・総勢2,250人の参加者が、一本のたすきを繋いで約1kmの特設コースの合計周回数を楽しみました。

「ニューイヤーコンサート」

グループ3行で1,000組・2,000名のお客さまをご招待し、オーケストラの美しく重厚な音色をお楽しみいただきました。

少年少女テニス大会

福岡銀行が、子どものためのテニス大会を開催しました。8回目となる本大会では、100名を超える県近郊在住の小学校4～6年生が参加し、元気いっぱいプレーとともに汗を流しました。

「ママさんバレー大会」

女性のスポーツ振興を目的に、熊本銀行が毎年主催している「ママさんバレー大会」が、23回目を迎えました。31チーム・総勢465名の参加者が、日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。

Universal
Action

ユニバーサルアクション

FFGは、高齢者、女性、子ども、障がい者の方はもちろんのこと、地域社会、地球環境を含めた「みんなに優しい」の実現を目指したアクションを展開しています。

FFGのユニバーサルアクション

銀行にご来店のお客さまへ

「みんなに優しい」店舗づくり
店舗のバリアフリー化
お客様責任者・サービス介助士の全店舗配置
普通救命講習受講者・認知症サポーターの配置
下記ユニバーサルツールの全店舗配置

（老眼鏡・AED・車椅子・視覚障がい者対応ATM
コミュニケーションボード（聴覚障がいがある方・外国人）
耳マーク案内板（筆談でのご案内）・助聴器・貸傘）

地域貢献活動

災害復旧支援活動
地域行事への参加
「小さな親切」運動（熊本銀行）
ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団活動
地域・産業振興助成金事業
（ふるさと振興基金・キューテック）
みんなの110番

社内の取り組み

障がいがあるお客さまなどへの利便性向上
（手話トレーニング、代筆・代読トレーニング、体験型研修）
TABLE FOR TWO

●ユニバーサルツール

多目的トイレの設置

座ったままご利用
いただける記帳台

筆談でのご対応



●地域貢献活動

ふるさと振興基金
贈呈式

銀行にご来店のお客さまへ

「みんなに優しい」銀行を目指して

障がいがある方や、高齢の方などに特定せず、誰もがもっと利用しやすい「みんなに優しい」銀行を目指しています。

具体的には、ハード面の充実として、「車椅子」「助聴器」「コミュニケーションボード」など各種ユニバーサルツールを全店舗配置しています。

また、ソフト面では、朝礼で実施している「手話トレーニング」による応対力の向上や、全営業店に配置する「お客様責任者（サービス介助士）2級保有」を中心とした知識・技術の習得など、サービス体制の充実に努めています。

地域貢献活動

ふるさと振興基金

地域の産業・文化支援を目的に、親和銀行が平成元年より行ってきた「ふるさと振興基金を、ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団の事業として引き継ぎ、グループの公益事業として福岡・熊本・長崎の3県に拡大・実施することとなりました。平成26年度下半期は、総額623万円を33先へ助成しました。

FFG企業育成財団

「ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団（キューテック）」は、地域の技術指向型中小企業を対象に、研究開発および人材育成に対する

助成、講演会の開催などの各種事業を行っています。

「小さな親切」運動

熊本銀行では、高齢者や体の不自由な方々の社会参加を目指して、医療機関および介護施設、学校などに車椅子を寄贈しています。26年度下半期は10台、平成12年のスタート以来の寄贈台数は、累計162台となりました。

社内の取り組み

「TABLE FOR TWO」への取り組み

平成21年6月から、従業員の健康維持と社会貢献へ同時に取り組む「TABLE FOR TWO」に参加しています。社員食堂でヘルシメニユーを注文すると、1食につき20円が発展途上国の学校給食費として寄付されます。3月末までの寄付金は、1,474,609円（全4拠点）となりました。

FFGの建築士から、あなたの住まいに「スマイル」な提案をお届けします。



二世帯住宅でいっしょに「暮らしづくり」

お互いをそばで支え合うのはもちろん、その土地の活気あるまちづくりにも繋がっていく「二世帯住宅」。そんな、親世帯・子世帯がいっしょに暮らす住まいが、「長く・快適に」続くポイントを、キーワードを交えてご紹介します。



二世帯住宅の基本「キッチン」は2つ

共有がベース。サブ空間あり
玄関や浴室などを共有
玄関まですべての生活空間を分離



大切な心構え
「尊重」と「感謝」

相手を受け入れ、干渉しすぎず、時には割り切りも。家族からのサポートに対して、「ありがとう」の気持ちを忘れない。

あまり知られていませんが、「キッチンをつつ設ける」のが、単なる同居と異なる二世帯住宅の特徴です。そこから、家族構成や生活リズム、二世帯住宅で実現したいことなどのバランスを取りながら、お互いの距離感別に大きく3タイプの、家族にいちばんのカチをつけていきます。

二世帯住宅のメリット

- ① 日常での協力
家事や子育て、加齢期の生活をサポート
- ② 何かあったら協力
病気やケガ、留守、万一の時の心強さ
- ③ 精神面
そばにいる安心感、子どもの成長へのプラス生活のハリ、文化の継承
- ④ 経済面
生活費・住宅費の支え合い、有利な税制適用も

少子高齢化や、共働き世帯の増加といった時代の流れにもマッチ

「昔前までは「同居」と同じような意味で捉えられていた「二世帯住宅」ですが、最近では、親と子の両世帯とも、より楽しく・ラクに暮らせる住まいのあり方として、注目を集めています。

「独立」と「融合」それぞれに合うバランスを

ここに注目！ / イマドキの二世帯スタイル

ポイント

3

お風呂&トイレ

使うタイミングが気になる場所！



水道・光熱費の分担を考慮して世帯別にするケースも。共有なら、子世帯ゾーンにシャワー室を設けたり、洗面台を置いて便利。

ポイント

2

洗濯スペース

やり方の違いが現れやすい場所！



共有すれば家事も協力しやすくなり、それぞれに洗濯機や物干しスペースをもつなら、時間を気にせず使えます。

ポイント

1

キッチン&ダイニング

まず最初に見てほしいのが、「キッチン&ダイニング」。ただ2つに分けるだけでなく、二世帯全員で調理しながら食卓を囲めるメインキッチン・ダイニングを設け、子世帯用にはサブキッチンを用意するという、独立しながら融合が叶うタイプが人気です。

家族みんなにとって中心となる大きな空間があることで、親世帯の日常生活を見守ったり、仕事で留守にしがちな子世帯に代わり親世帯が孫の面倒をみるなど、お互いをサポートできる体制や、一家団欒の時間が自然と生まれやすくなります。



↑メインキッチン
主に親世帯が生活する場合の多い一階を、家族みんなの共有スペースとして位置付け

←子ども世帯用のサブキッチン



【column】

イメージで広がる、住まいへの配慮

みんなに優しい住宅として、バリアフリーを思い浮かべる方は多いはず。そこに、「長い時間を家で過ごす両親」「賑やかな子育て世帯」など、これからいっしょに暮らす相手の姿を想像してみましょう。設備だけでなく、光や音、温度などへの配慮でできる暮らしづくりが見えてきます。



光を多く取り込めるような窓、断熱や防音効果の高い資材の活用もgood！

取材協力：旭化成ホームズ株式会社



住まいる
ギャラリー
FUKUOKA BANK SMILE GALLERY

お気軽にご相談ください！

福岡銀行本店中2階「住まいるギャラリー」では、建築士やインテリアコーディネーターの資格を持つ専門のスタッフが、住宅に関するアドバイスをを行っています。ご相談は無料です。

〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店 中2階 TEL 092-723-2290
営業時間／平日：9:00～17:00 土曜：10:00～17:00(12月31日～1月3日は休業)



山田ホタルの里

5月下旬から7月上旬にかけて、夜になると無数のホタルが見られます。公園内には、ホタルについて教えてもらえる「ホタルの館」※も。

- 所在地／宗像市山田44-1
- 問合せ先／宗像市 維持管理課 ☎0940-36-7471
- ※5月下旬～6月下旬の19時～21時のみ開館

来て！
見て！

マイタウン
My Town

～宗像編～

このコーナーでは、FFGの主要拠点である福岡・熊本・長崎の3県をご紹介します。
今回は、「元気な市民と、元気なまちづくり」を基本理念とする「宗像市」にフォーカスしました！

豊かな緑と海が囲む、神おわす街へ

神宝館

沖ノ島で、昭和29年から3次にわたり行われた古代遺跡の学術調査によって発見された、鏡・剣・勾玉など8万点もの奉獻品(全て国宝)や宗像大社に代々伝わる重要文化財が収蔵・展示されています。

- 所在地／宗像大社辺津宮本殿脇 ☎0940-62-1311
- 開館時間／9時～16時30分(最終入館16時)
- 休館日／年中無休



宗像のブランド魚「玄ちゃんアジ」

玄界灘の荒波に揉まれて身が締まり、脂のりも抜群。通常の「アジ」という魚の評価を覆す逸品です。



海によって結ばれた三宮からなる「宗像大社」

古くから外国との貿易や進んだ文化を受け入れる窓口として重要視されていた、宗像。日本書紀には、「歴代天皇のまつりごとを助け、天皇家より丁重な祭祀を受けられよ」との神勅(天照大神のお言葉)により、三女神がこの地に降りられ、お祀りされるようになったことが記されています。それが、宗像市田島の「辺津宮」、玄界灘沖合にある大島の「中津宮」、さらにその先に浮かぶ孤島・沖ノ島の「沖津宮」からなる宗像大社の由緒。現在は、道の神・宗像三女神を奉斎する全国約6,400社の総本宮として信仰を集めています。

- 所在地／辺津宮：宗像市田島2331 ☎0940-62-1311 中津宮：宗像市大島1811 ☎0940-72-2007

福岡市と北九州市の中間に位置する宗像市は、三方を標高400m前後の山々に囲まれ、残る一方は玄界灘の大海原を臨む自然豊かなベッドタウン。宗像大社、鎮国寺をはじめとする文化・歴史の薫るスポットも点在し、かつては神の領土として「神郡」と呼ばれていました。近年は、宗像大社の神領である「沖ノ島」とその関連遺産群がユネスコ世界遺産の暫定リストに記載され、福岡県、福津市、経済団体、文化教育団体、市民代表などとともに登録実現に向け、新たな活気を見せています。

こうした中、地方創生の一環として行う、「都市再生事業」では今年4月、福岡銀行をはじめ6者間で「宗像市都市再生連携協力に関する協定書」を締結。事業プランの一つとして、宗像市に住宅を新たに取得されるお客さまを対象とした「宗像市限定住宅ローン特別金利」優遇制度の取扱いが福岡銀行にて開始されました。また、宗像市内の民間住宅に、これから住む子育て世帯・新婚世帯へ家賃の一部を補助する制度を設けるなど、「元気な市民と、元気なまちづくり」を目指す、さまざまな取組みを積極的に展開しています。

もちろん、宗像市は訪れる人にとっても魅力がいっぱいの街。恵まれた自然を活かした、ご当地ブランドの新鮮な魚介や、玄海の環境・歴史など地域資源の保全を通じたエコリズムも楽しめます。さらに、この時期は市内3カ所の海水浴場もおススメ。ひとと大自然が輝く街へ、お出かけになってみませんか。

ようはいしよ 沖津宮遙拝所

沖津宮は女人禁制の「沖ノ島」にあり、一般の人は立ち入ることができないため、遙か海を隔てた「大島」の北側に、沖津宮を拝することのできる場所として設けられました。

- 所在地／宗像市大島
- 問合せ先／宗像大社社務所 ☎0940-62-1311



うみんぐ大島

平成23年にオープンした公共の海洋体験施設。釣り施設(海上釣堀、釣防波堤)や遊歩道、プレジャーボートの係留施設などがあり、シーカヤックや海中観察なども楽しめます。

- 所在地／宗像市大島1822-4 ☎0940-72-2361
- 利用時間／8時～17時(11月～3月は～16時)
- 休所日／毎週火曜日(火曜日が休日の場合は翌日)、12月28日～1月4日



道の駅むなかた

玄海国立公園「さつき松原」に隣接し、玄界灘を一望。採れたての野菜や果物、魚介を目当てに、平日でも開店前に行列ができるほどの人気です。九州売上No.1を更新中。

- 所在地／宗像市江口1172 ☎0940-62-2715
- 営業時間／物品販売所：9時～17時(6～9月は8時30分～) レストランはまゆう：11時～16時
- 休館日／毎月第4月曜日(祝日の場合は翌日)、8月15日～17日、12月31日～1月5日

ちんこく饅頭

変わったネーミングは、鎮国寺に由来。昔から宗像で親しまれている、シナモン風味のお饅頭です。

- 製造・販売／菓子舗 鼓家 宗像市田熊1-1-16 ☎0940-36-2073
- 営業時間／平日8時30分～19時30分(日曜日は～18時)
- 店休日／毎月第2水曜日



別格本山 鎮国寺

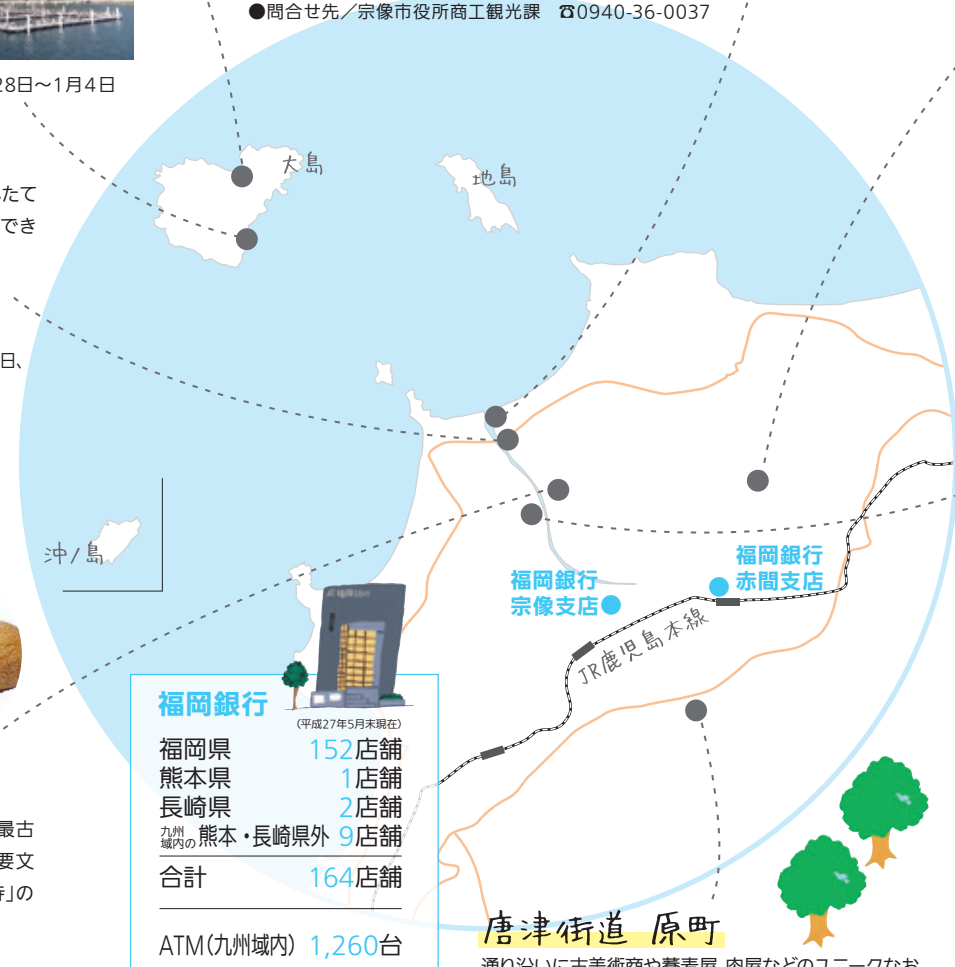
弘法大師が日本で最初に創建したと伝えられる真言宗最古の寺院。大師作と伝えられる「不動明王立像」(国指定重要文化財)、五仏堂(県指定文化財)などがあり、「花と祈願の寺」の別名通り、年間を通じて美しい花々が咲き誇っています。

- 所在地／宗像市吉田966 ☎0940-62-0111

北斗の水くみ海浜公園

北斗七星のひしゃくが海の水を汲むように見える、世界でも珍しい天体ショーが9月下旬から10月下旬にかけて見られるスポット。鳴らすと幸福が訪れるといわれる「幸せの鐘」も。

- 所在地／宗像市神湊1278-1
- 問合せ先／宗像市役所商工観光課 ☎0940-36-0037



唐津街道 原町

通り沿いに古美術商や蕎麦屋、肉屋などのユニークなお店が点在。街道の名残を感じさせる歴史的な白壁の街並みが続き、現在でも街道全体がひとつの芸術といった雰囲気です。

- 所在地／宗像市原町
- 問合せ先／宗像観光協会 ☎0940-62-3811



神に捧げ続ける国家安泰への祈り

悠久の歴史が今も―「沖ノ島」

沖ノ島には田心姫神が祀られ、島全体が御神体、宗像大社の神領とされています。宗像大社の許可なく立ち入ることはできません。滞在が許されている神職がただ一人交代で常在し、毎日神事が行われています。

また、かつては命がけだった沖ノ島への船旅に、子どもを産み、子子孫孫へ命を繋ぐ女性を連れていくわけにはいかないため、女人禁制になったといわれ、現在も島への立ち入りが許されるのは男性のみ。年一度、日本海海戦を顕彰する5月27日、一般男子の中から抽選で選ばれた約200人が、裸になって海で禊をし、現地大祭に参加します。このように、人々の神への信仰心や強い畏敬の念、また禁忌が往古から変わることなく脈々と受け継がれ息づいている地、それが神宿る島「沖ノ島」なのです。





ふくおかフィナンシャルグループ 経営戦略

第四次中期経営計画「ABCプランII」(3カ年計画:平成25年4月～平成28年3月)

●基本方針

ABCプランIIでは、「お客さま起点」の構造改革で営業基盤の飛躍的拡大を実現し、九州全域で確固たる支持を獲得する総合金融グループを目指して、4つの基本方針に基づいた各種戦略・施策に取り組んでいます。

お客さま起点

基本方針I
お客さまとのリレーション深化

基本方針II
営業生産性の向上

基本方針III
グループ総合力の強化

基本方針IV
FFGブランドの磨き上げ

●実施施策

・コンサルティングリテール

FFGがこれまで蓄積してきたノウハウ・機能を活用して、法人・個人全てのお客さまのあらゆるニーズにワンストップでサービスをご提供

・タブレット端末

グループ3行で2,000台導入し、お客さまの各種手続きにかかる負担を削減



▲タブレット端末

◀海外ビジネスサポート

▼地域再生・活性化ネットワーク



●目標指標

	平成27年度 最終目標	平成26年度 実績
FFG連結当期純利益	370億円	366億円
3行合算総貸出金平残	10兆円	9.7兆円
3行合算総資金平残	12兆円	12.4兆円 1年前倒し到達
連結配当性向	30%程度	28%

利益還元

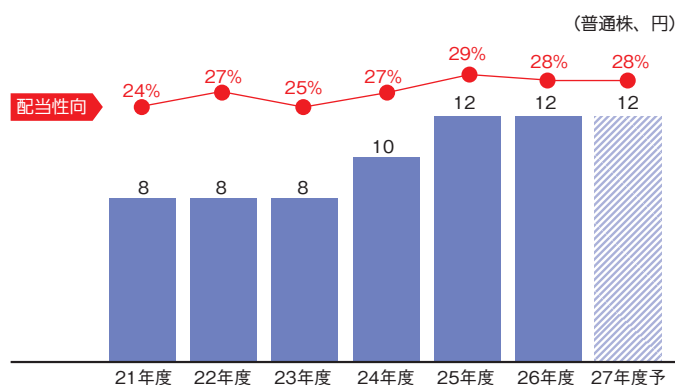
当社は、企業価値の持続的な向上と企業体質の更なる強化を目指しつつ、株主の皆さまに対する利益還元の充実を図るため、連結当期純利益の水準に応じて配当金をお支払いする方針としています。また、ABCプランIIでは、配当性向30%程度とする配当テーブルを設定しています。

●配当金目安テーブル

FFG連結当期純利益※	配当金目安	配当性向
400億円～	13円	～28%
350～400億円以下	12円	26～30%
300～350億円以下	11円	27～32%
250～300億円以下	10円	29～34%
200～250億円以下	9円	31～39%
150～200億円以下	8円	34～46%
～150億円以下	7円	40%～

※ 親会社株主に帰属する当期純利益を指します。

●配当金の推移



●株式指標

	25年度	26年度	27年度予
1株あたり当期純利益(EPS)	41.8円	42.3円	42.8円
1株あたり純資産(BPS)	798.16円	865.66円	—
自己資本利益率(ROE)	5.3%	5.1%	5.0%
有形資本ROE(ROTE)	6.6%	6.1%	5.8%

※ 有形資本＝純資産－少数株主持分－無形固定資産



ふくおかフィナンシャルグループ 平成26年度の業績ハイライト

損益状況

●3行単体合算

(単位:億円)

	平成25年度	平成26年度	前年比
業 務 粗 利 益	1,811	1,742	▲ 69
資 金 利 益	1,529	1,496	▲ 33
役 務 取 引 等 利 益	185	209	24
特 定 取 引 利 益	1	1	▲ 0
そ の 他 業 務 利 益	96	35	▲ 60
経費(除く臨時処理分)▲	1,008	998	▲ 10
業 務 純 益※1	668	744	76
コ ア 業 務 純 益※2	749	742	▲ 8
信 用 コ ス ト※3▲	82	▲ 25	▲ 107

「コア業務純益」は、貸出金利回り低下による資金利益の減少を、授信・保険などの役務利益の増加や経費削減でカバーしましたが、前年比▲8億円減少し742億円となりました。

「連結経常利益」は、有価証券(株式・債券)損益は減少しましたが、信用コストの減少およびその他臨時損益が増加したことから、前年比+37億円増加し608億円となりました。

「連結当期純利益」は前年比+4億円増加の366億円となりました。**【3年連続過去最高益】【増益は4年連続】**

※1 業務純益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額

※2 コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

※3 信用コスト＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額

●FFG連結

経 常 利 益	570	608	37
当 期 純 利 益	362	366	4

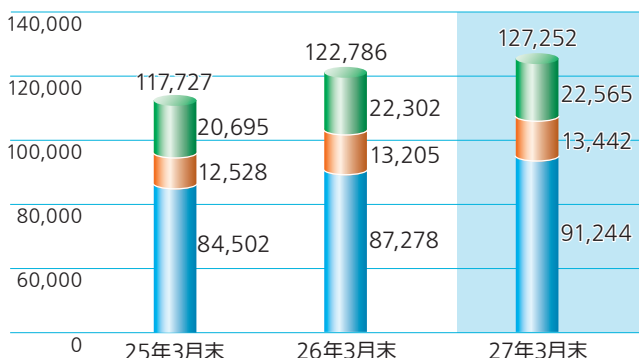
総資金(預金+NCD)の状況(3行単体合算)

総資金(預金+NCD)は、3行ともに堅調に推移しました結果、前年度末比4,466億円増加し、12兆7,252億円となりました。

※NCD…譲渡性預金

総資金残高(期末残高)

(単位:億円)

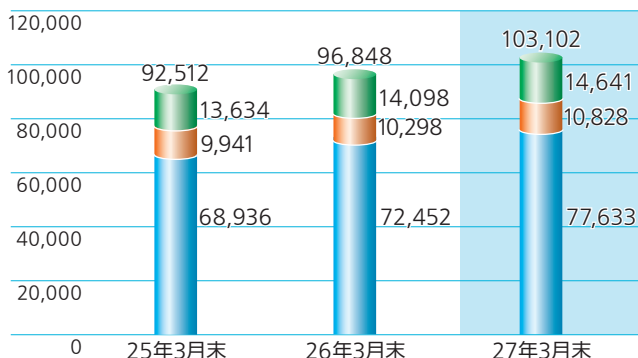


貸出金の状況(3行単体合算)

貸出金は、地元企業や個人のお客さまの資金ニーズに積極的に対応しました結果、前年度末比6,253億円増加し、10兆3,102億円となりました。

貸出金残高(期末残高)

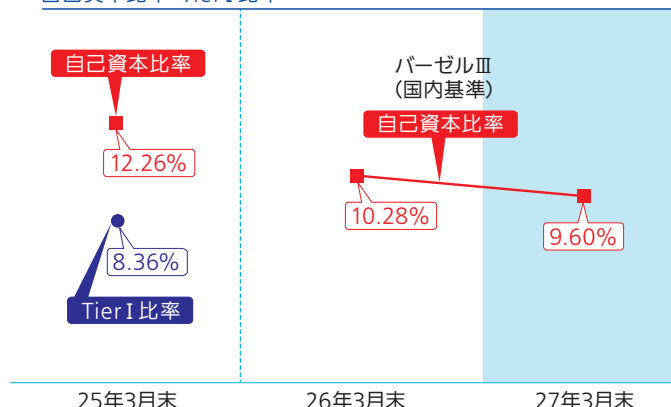
(単位:億円)



自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率[パーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比0.68%低下し、9.60%となりました。

自己資本比率・Tier I比率

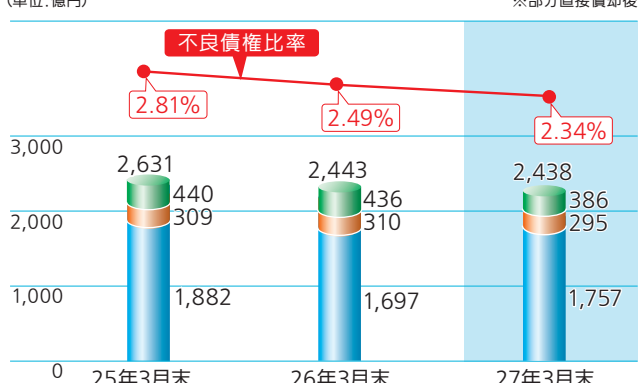


不良債権の状況(3行単体合算・部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比5億円減少し、2,438億円となりました。不良債権比率は同0.15%低下し、2.34%となりました。

不良債権残高・比率

(単位:億円) ※部分直接償却後





福岡銀行 平成26年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位: 億円)

	平成25年度	平成26年度	前年比
業 務 粗 利 益	1,302	1,245	▲ 57
資 金 利 益	1,082	1,068	▲ 14
国 内 部 門	1,024	997	▲ 27
国 際 部 門	58	71	13
役 務 取 引 等 利 益	137	148	11
特 定 取 引 利 益	1	1	▲ 0
そ の 他 業 務 利 益	82	28	▲ 54
経費(除く臨時処理分)▲	654	658	4
業 務 純 益	584	588	3
コ ア 業 務 純 益	598	586	▲ 12
経 常 利 益	599	590	▲ 9
当 期 純 利 益	404	363	▲ 41
信 用 コ ス ト ▲	12	▲ 19	▲ 31

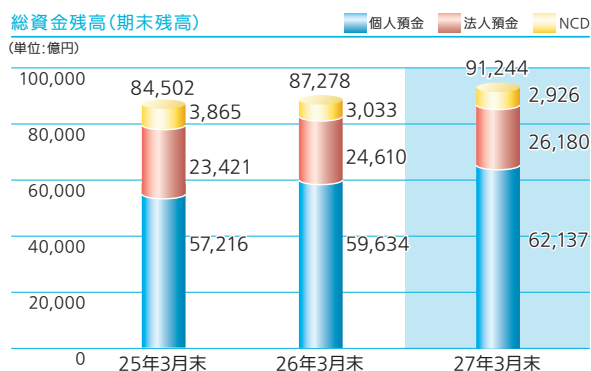
「コア業務純益」は、貸出金利回り低下による資金利益の減少を、投信・保険などの役務利益の増加でカバーしましたが、前年比▲12億円減少し586億円となりました。

「経常利益」は、信用コストの減少およびその他臨時損益が増加しましたが、コア業務純益と有価証券(株式・債券)損益が減少したことから、前年比▲9億円減少し590億円となりました。

「当期純利益」は、前年比▲41億円減少の363億円となりました。

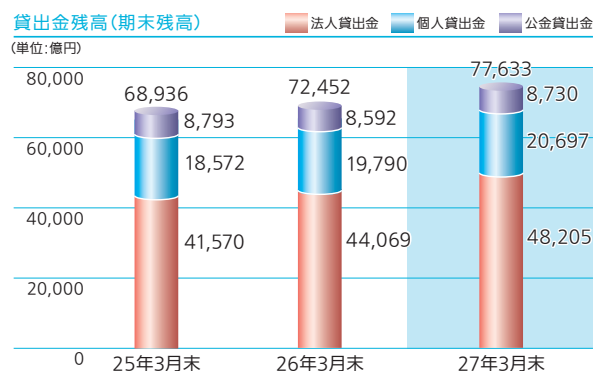
総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比3,965億円増加し、9兆1,244億円となりました。



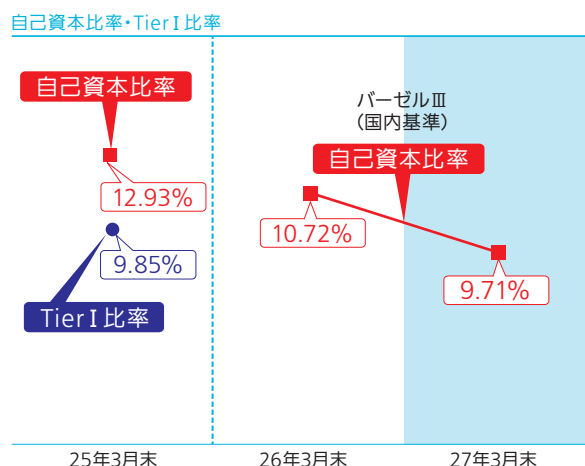
貸出金の状況

法人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比5,180億円増加し、7兆7,633億円となりました。



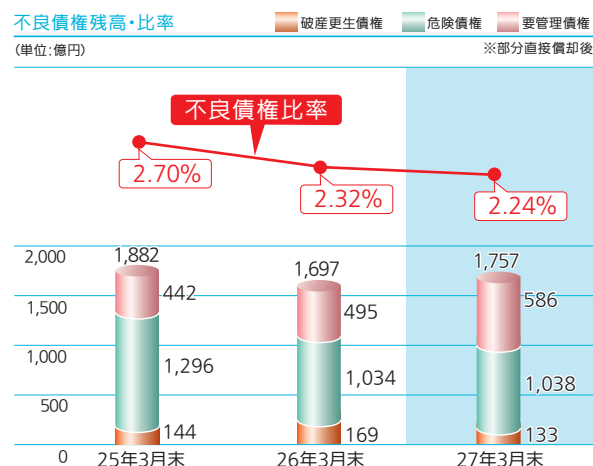
自己資本比率の状況(連結ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比1.01%低下し、9.71%となりました。



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比60億円増加し、1,757億円となりました。不良債権比率は同0.08%低下し、2.24%となりました。





熊本銀行 平成26年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成25年度	平成26年度	前年比
業 務 粗 利 益	204	203	▲ 1
資 金 利 益	186	182	▲ 3
国 内 部 門	186	182	▲ 4
国 際 部 門	▲ 1	0	1
役 務 取 引 等 利 益	14	18	4
特 定 取 引 利 益	—	—	—
そ の 他 業 務 利 益	4	3	▲ 1
経費(除く臨時処理分)▲	143	136	▲ 7
業 務 純 益	30	67	37
コ ア 業 務 純 益	60	67	7
経 常 利 益	12	66	54
当 期 純 利 益	50	80	30
信 用 コ ス ト ▲	30	▲ 6	▲ 36

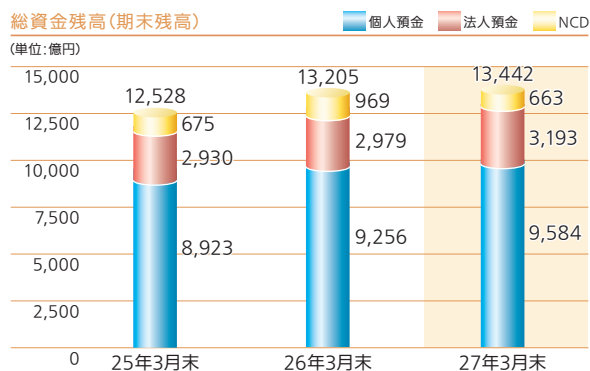
「コア業務純益」は、貸出金利回り低下による資金利益の減少を、投信・保険などの役務利益の増加や経費削減でカバーした結果、前年比+7億円増加し67億円となりました。

「経常利益」は、コア業務純益の増加に加え、信用コストの減少およびその他臨時損益の増加により、前年比+54億円増加し66億円となりました。

「当期純利益」は、前年比+30億円増加の80億円となりました。

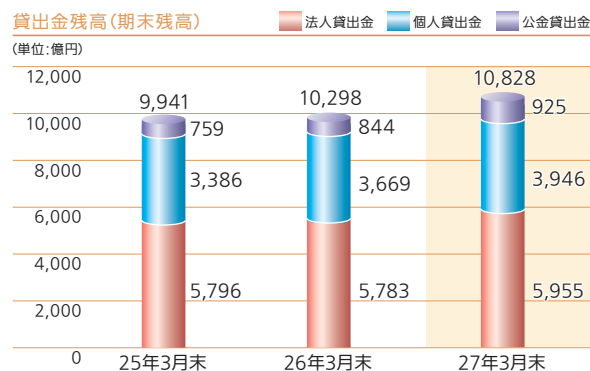
総資金(預金+NCD)の状況

個人預金・法人預金ともに堅調に推移しました結果、前年度末比237億円増加し、1兆3,442億円となりました。



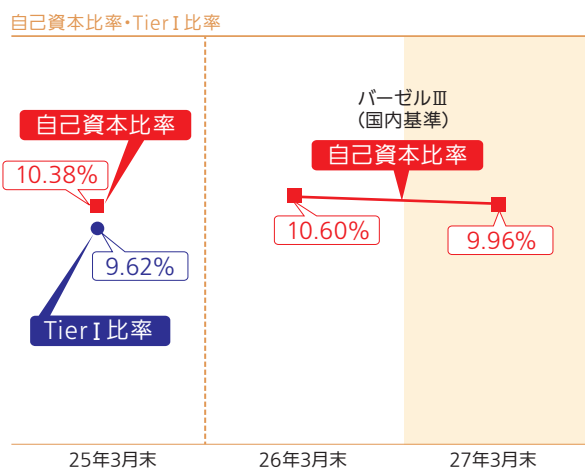
貸出金の状況

住宅ローンを中心とする個人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比530億円増加し、1兆828億円となりました。



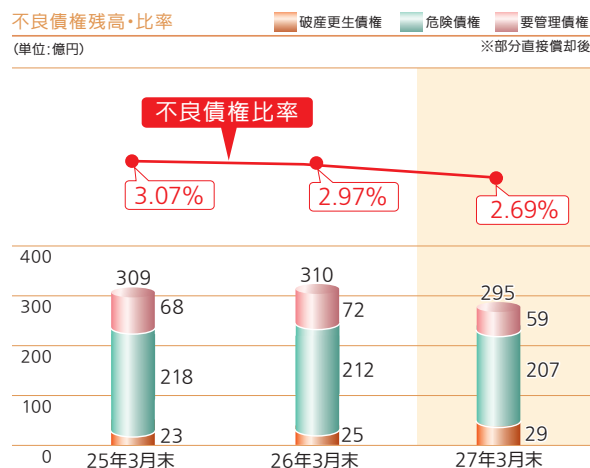
自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率[パーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比0.64%低下し、9.96%となりました。



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比15億円減少し、295億円となりました。不良債権比率は同0.28%低下し、2.69%となりました。





親和銀行 平成26年度の業績ハイライト

損益状況(単体ベース)

	平成25年度	平成26年度	前年比
業 務 粗 利 益	305	294	▲ 11
資 金 利 益	262	246	▲ 15
国 内 部 門	262	246	▲ 16
国 際 部 門	▲ 0	0	1
役 務 取 引 等 利 益	34	43	8
特 定 取 引 利 益	—	—	—
そ の 他 業 務 利 益	9	5	▲ 5
経費(除く臨時処理分)▲	211	204	▲ 7
業 務 純 益	54	77	24
コ ア 業 務 純 益	91	89	▲ 2
経 常 利 益	55	87	32
当 期 純 利 益	46	36	▲ 11
信 用 コ ス ト ▲	40	0	▲ 40

(単位:億円)

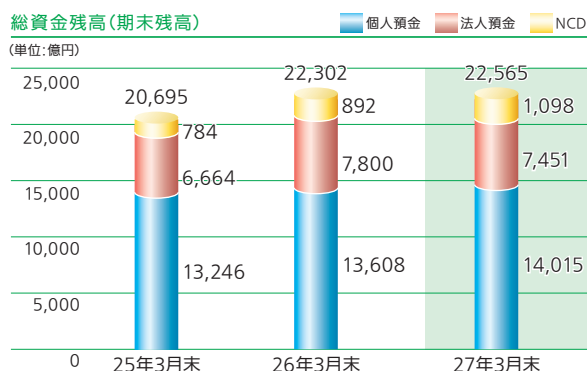
「コア業務純益」は、貸出金利回り低下による資金利益の減少を、投信・保険などの役務利益の増加や経費削減でカバーしましたが、前年比▲2億円減少し89億円となりました。

「経常利益」は、コア業務純益は減少したものの、信用コストの減少により、前年比+32億円増加し87億円となりました。

「当期純利益」は、前年比▲11億円減少の36億円となりました。

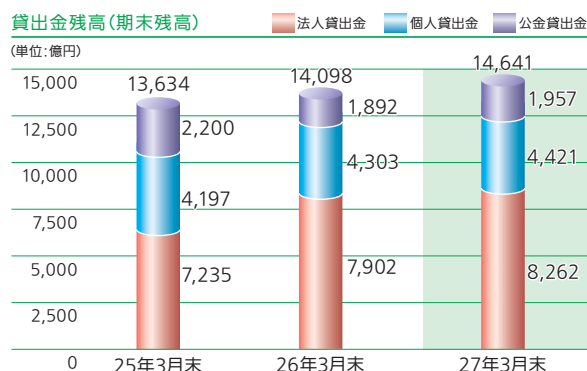
総資金(預金+NCD)の状況

法人預金は減少しましたが、個人預金が堅調に推移しました結果、前年度末比263億円増加し、2兆2,565億円となりました。



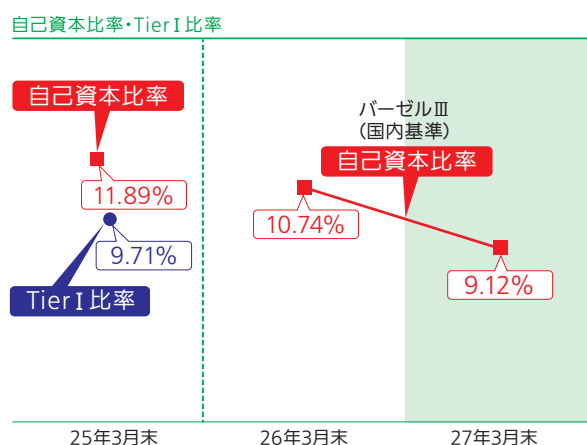
貸出金の状況

法人貸出金が順調に増加した結果、総貸出金は前年度末比543億円増加し、1兆4,641億円となりました。



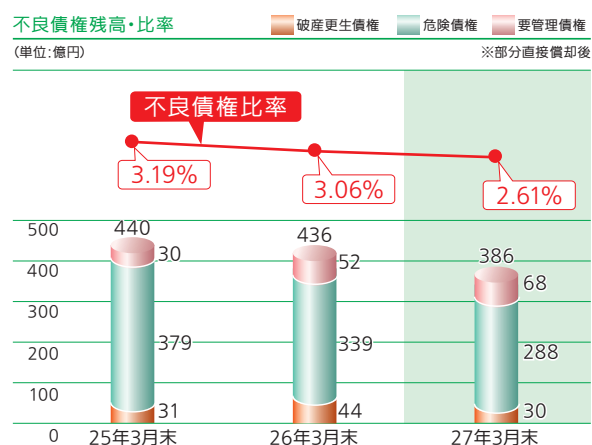
自己資本比率の状況(単体ベース)

自己資本比率[バーゼルⅢ(国内基準)]は、前年度末比1.62%低下し、9.12%となりました。



不良債権の状況(部分直接償却後)

不良債権残高は、前年度末比50億円減少し、386億円となりました。不良債権比率は同0.45%低下し、2.61%となりました。



グループ銀行プロフィール

平成27年3月末日現在

ふくおかフィナンシャルグループは
九州を基盤とした広域展開型地域金融グループです。



設立日 平成19年4月2日
本社所在地 福岡市中央区大手門一丁目8番3号
資本金 1,247億円
従業員数 6,805人
電話(代表) 092-723-2500
URL <http://www.fukuoka-fg.com/>

■ 連結子会社 16社
(うち福岡銀行連結 12社)

■ 格付情報

A+ R&I
発行体格付

A JCR
長期優先
債務格付



設立日 昭和20年3月31日
本店所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号
資本金 823億円
従業員数 3,622人
電話(代表) 092-723-2131
URL <http://www.fukuokabank.co.jp/>

明治10年、第十七国立銀行として創業。
九州全域を営業エリアとする。

貸出金	資金量	格付
7.8 兆円	9.1 兆円	AA- ^{*1} A+ ^{*2} Baa1 ^{*3}

*1 R&I 発行体格付 *2 JCR 長期優先債務格付 *3 Moody's 長期預金格付



設立日 昭和4年1月19日
本店所在地 熊本市中央区水前寺六丁目29番20号
資本金 338億円
従業員数 937人
電話(代表) 096-385-1111
URL <http://www.kumamotobank.co.jp/>

昭和4年創業。
熊本県内を主要営業エリアとする。

貸出金	資金量	格付
1.1 兆円	1.3 兆円	A+ ^{*1} A ^{*2}



設立日 昭和14年9月1日
本店所在地 長崎県佐世保市島瀬町10番12号
資本金 368億円
従業員数 1,248人
電話(代表) 0956-24-5111
URL <http://www.shinwabank.co.jp/>

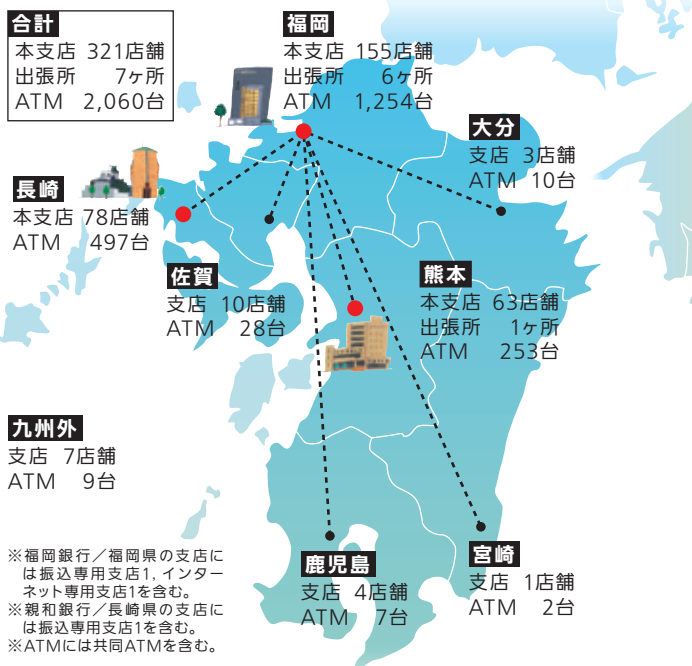
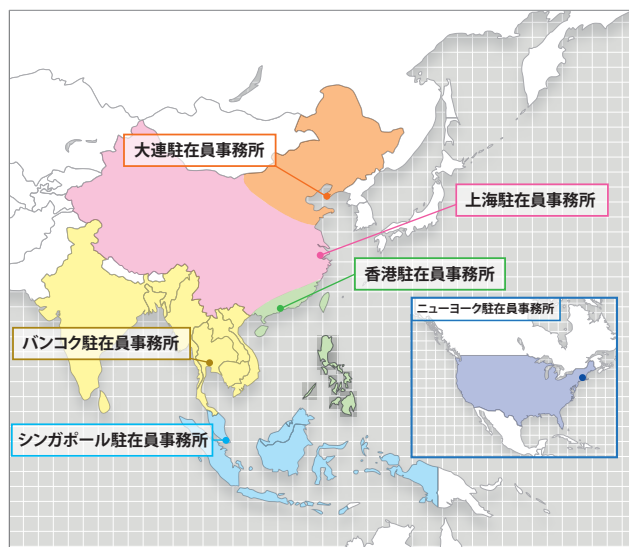
明治12年、第九十九国立銀行として創業。
長崎県内を主要営業エリアとする。

貸出金	資金量	格付
1.5 兆円	2.3 兆円	A+ ^{*1} A ^{*2}

FFGのネットワーク

平成27年5月末日現在

海外ネットワーク





商号等	株式会社福岡銀行	株式会社熊本銀行	株式会社親和銀行
登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	九州財務局長(登金)第6号	福岡財務支局長(登金)第3号
加入協会	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会	日本証券業協会	日本証券業協会